

令和7年度第2回江南市子ども・子育て会議 会議録

会議名：令和7年度第2回江南市子ども・子育て会議

開催日時：令和8年2月9日（月） 午前9時58分から午前10時40分

場所：市役所 防災センター2階 仮眠待機室・救護室

委員：出席委員13人

岡田 和明（子ども・子育て支援に関し学識経験のある者）
杳名 珠子（その他市長が必要と認める者）
伊藤 靖祐（子ども・子育て支援に関する事業に従事する者）
大池 泰子（関係団体の代表者）
葛西 直示（関係団体の代表者）
倉地 一秋（関係団体の代表者）
酒井 美郷（関係団体の代表者）
笹瀬 ひと美（子ども・子育て支援に関し学識経験のある者）
白川 裕羽（公募により選定された者）
滝 正直（子ども・子育て支援に関する事業に従事する者）
武田 篤司（関係団体の代表者）
永田 裕美子（関係団体の代表者）
百瀬 貴子（関係行政機関の職員）

事務局：安達 則行（健康こども部長）

向井 由美子（こども未来課長）
村田 志穂（こども未来課指導保育士）
大脇 宏祐（こども未来課主幹）
千田 尊義（こども未来課副主幹）
柘植 真緒（こども未来課主事）

傍聴人数：0人

議題

(1) 第3期江南市子ども・子育て支援事業計画の代用計画の策定等について

資料1 第三期市町村子ども・子育て支援事業計画 代用計画（案）

資料2 特定乳児等通園支援事業の利用定員の設定等について

(2) 特定教育・保育施設の利用定員の設定について

資料3 特定教育・保育施設の利用定員の設定について

参考資料 第3期江南市子ども・子育て支援事業計画（抜粋）

報告

(1) 病児保育施設の開設について

資料4 病児保育施設の開設について

会長あいさつ

議題1 第3期江南市子ども・子育て支援事業計画の代用計画の策定等について

事務局説明（資料1、2）

質疑

委員 特定乳児等通園支援事業を実施する3施設について、駐車場は確保されていますか。

事務局 布袋ぽっぽ園は、toko+toko=labo の駐車場を利用することができます。布袋駅ぽっぽ園みなみときたにつきましては、施設前に15台程度整備されておりますので、こちらで賄えると考えております。

会長 それでは他に質疑もないようですので、議題の検討を終わります。これをもちまして、第3期江南市子ども・子育て支援事業計画の代用計画の策定及び特定乳児等通園支援事業の利用定員の設定等について、承認してよろしいでしょうか。

委員 （異議なし）

会長 では、愛知県知事への提出等、進めていただくようお願いいたします。

議題2 特定教育・保育施設の利用定員の設定について

事務局説明（資料3、参考資料）

質疑

委員 すでに入園募集を終えているかと思いますが、定員に対して何名の入園が決まっていますか。

事務局 定員 222 名に対して 194 名の入園予定となっており、4 歳児及び 5 歳児で空きがある状況です。

会長 それでは他に質疑もないようですので、議題の検討を終わります。これをもちまして、特定教育・保育施設の利用定員の設定について、承認してよろしいでしょうか。

委員 （異議なし）

会長 では、事業者への結果通知等、進めていただくようお願いいたします。

報告1 病児保育施設の開設について

事務局説明（資料4）

質疑

委員 病児が増えるタイミングは予約が難しくなることも予想されますが、今後の病児保育の方針を教えてください。

事務局 令和3年度にあいあい病児保育室を開設し、一日の定員3名×240日（平日）ということで、現状、年間最大720名の受入れができる体制です。実績としましては、年間約500名の利用があり、数字をみると余裕があるようにはみえますが、インフルエンザや風邪の流行期には予約が困難な状況となっています。そこで今回1施設増設することで、予約困難な時期への対応をしてみたいと思います。また、引き続き利用状況等をみながら、今後の計画を考えていきたいと思えます。

委員 この体制で本当にニーズに対応できるのか、次の一手を検討していく必要があると思います。地域の法人（民間）と協力し、子どもの体調不良時には親を早退等させてあげる職場環境を整えるのが最善だと思います。ぜひ、行政が民間にアプローチして、そのような職場環境を整えてほしいと思います。

委員 子どもは体調が優れないときは親のそばにいたいと思うものです。企業の方にも行政が連携をとっていただいて、親自身も職場で嫌な

思いをすることなく休暇を取得することができるような環境が整えられると良いと思います。幼少期の親との信頼関係は、10年後につながります。これに気付いていただけると、より良い社会につながると思いますので、受け入れる側の体制整備のみでなく、企業へのアプローチをしていただけると助かります。

会長 職場環境の改善については、市内の法人のみでなく、オール愛知、オール日本で考えていかなければならないという風に思います。

委員 病児保育は知っているけれど、「きっと予約できないだろう」と思って、利用したことがないという話を聞きます。新しい施設が増えることはとても嬉しく思います。気軽に利用できるということの認知がもっと広がると良いなと思います。

事務局 広報や市ホームページでの周知を予定していますが、LINE等のSNSを活用して、より周知できるように努めます。

会長 口コミでの周知も効果的かと思いますので、委員の皆様もぜひPRをお願いいたします。

委員 あいあい病児保育室は市民が優先して利用できますが、今回の施設も同様でしょうか。

事務局 病児保育事業は市の事業を委託して実施しますので、市民優先ということになります。

委員 利用料は市外の方も同じですか。

事務局 市外の方の利用につきましては、市の委託事業の対象外ですので、利用料はそれぞれの事業者が設定することになります。今回は同額の計画です。